

地域の福祉を考える会

本日は、地域の福祉について、考える会を開催しましたところ、多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。また、日頃は、北栄町福祉行政の発展のためにご理解とご協力をいただいておりますことお礼申し上げます。

また、本日は、以前から北栄町の福祉施策アドバイザーとして、お世話になっております土屋先生においでいただき、この後、お話をいただくようになっています。土屋先生、どうぞよろしく願いいたします。

さて、皆さまの周りには、こんなことで困っているとか、こうあったら良いのにと、いろいろな課題・問題があると思います。昨年、由良地区にあった病院がなくなりました。それまで利用されていた方は、遠くの医院へ行かなくてはなりません。またこの秋には、Aコープ下北条店も閉鎖となり、それまで利用されていた方は、遠くのスーパーに行かなくてはなりません。など、いろいろな課題があると思います。これまで多くの場合、その解決までの一連のことは行政や社協中心で動いてきていると思います。しかしながら、行政だけでは限界、できないことも多々あります。そこで、多くの皆さまと一緒に作った、地域福祉推進計画に「住民一人ひとりが『地域の担い手』であることを自覚し、町民が主体となって、自分ができることを地域の中に少しずつ広げていくことが大切である。」とありますように、地域の課題について皆さままで考えて、話し合っ、やってみる。そんな取り組みができれば、いつまでも住み慣れた地域で暮らせる、持続可能なまちづくりができると思います。

町民と行政、社協等が連携をとりながら、地域福祉、助け合い活動の推進を行っていただければと思います。

終わりに、この会が皆さまにとって有意義な会となり、仲間が増え、取り組みがさらに推進されることを祈念し、開会にあたってのあいさつとします。

令和5年7月3日

北栄町長 手嶋俊樹